

配布先：岡山県政記者クラブ
岡山市政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

発 表 日
発 表 者

令和 8年 9月 17日
高梁川水系水利用協議会
事務局

9月18日、高梁川水系で第2次取水制限を実施

～引き続き節水にご協力をお願いします～

高梁川水系水利用協議会(事務局：岡山河川事務所)は、9月16日開催の「第2回渇水調整会議」において、取水制限強化のため、第2次取水制限を実施することを決定しました。

1. 実施の理由

高梁川水系では、令和8年9月7日より第1次取水制限を実施し貯水量低下の抑制に努めてまいりましたが、まとまった降雨がない状態が続いております。9月17日現在、主要6ダムの貯水率は33.4%（平年値78.9%）まで低下しています。

今後も無降雨の状況が続き、現在の取水量を維持した場合、約30日後には主要6ダムの貯水量が「危機的渇水期」の目安とされる10%程度まで低下する恐れがあります。

そのため、現在の貯水量を極力温存すべく、上水道の取水制限を強化する「第2次取水制限」を実施します。

2. 実施内容

今回の措置により、上水道の制限率を5%から10%へ強化します。工業用水および農業用水については、現在の制限率を維持（据え置き）します。

【実施日時】

令和8年9月18日（金）正午から

【実施内容】

- ◆上水道（実績取水量から） 10%（※5%から引き上げ）
- ◆工業用水（実績取水量から） 10%（※現行維持・据え置き）
- ◆農業用水（許可取水量から） 20%（※現行維持・据え置き）

3. 河川流量に応じた一時的な取水制限の緩和措置について

局地的な降雨等により河川流量が一時的に回復した場合、速やかに水を利用できるよう、以下の通り柔軟な緩和措置を講じることとします。

- ・開始（緩和）条件：日羽水位観測所の水位が 2.91m（流量 約51m³/s）以上となった時点で、一時的に許可量までの取水を可能とする。
- ・終了（再制限）条件：同観測所の水位が 2.86m（流量 約46m³/s）を下回った時点で直ちに上記の取水制限に基づく取水量へ戻るものとする。
- ・確認方法：日羽水位観測所の水位は国土交通省「川の防災情報」ウェブサイトの数値を基準とし、各取水者において確認を行うものとする。

【参考：高梁川水系主要6ダムの貯水状況】（令和8年9月17日 午前9時現在速報値）

貯水率： 33.4%（平年貯水率 78.9%）（詳細は、以下のウェブサイトに掲載）

http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/kouhou/kassui/kassui_pdf/3kasennndamukeika.pdf

<問い合わせ先>

高梁川水系水利用協議会 事務局

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5101（代表）

副所長 岩田 輝貴（内線206）

占用調整管理官 土井 学（内線303）

管理課長 山本 智一（内線331）